

令和2年3月12日

新型コロナウイルス（COVID-19）肺炎を発症した 血液透析患者の経過についての症例報告

公益社団法人 日本透析医会
新型コロナウイルス感染対策ワーキンググループ
委員長 菊地 勘

3月3日付の当会会告に記載したように、3月1日に九州で透析患者にCOVID-19が発症し、患者が感染症病棟で治療中であることを報告しております。その後の治療経過が、日本感染症学会のホームページに報告されておりますのでご参照ください（下記URL）。

3月1日に透析管理可能な感染症指定医療機関に転院。それまで増悪の一途を辿っていた肺炎は、転院後にヒドロキシクロロキン硫酸塩（商品名：プラケニル）による治療が開始され、病状は大きく好転しています。現在、SARS-CoV-2 PCR 検査の陰性化を確認次第、自宅退院予定となるまでに改善しております（3月10日時点）。

なお、本症例報告は日本感染症学会より転載の許諾を得ています。

一般社団法人日本感染症学会

〔症例報告〕

新型コロナウイルス（COVID-19）肺炎を来した血液透析患者に対してクロロキンを投与した一例

http://www.kansensho.or.jp/uploads/files/topics/2019ncov/covid19_casereport_200310_2.pdf